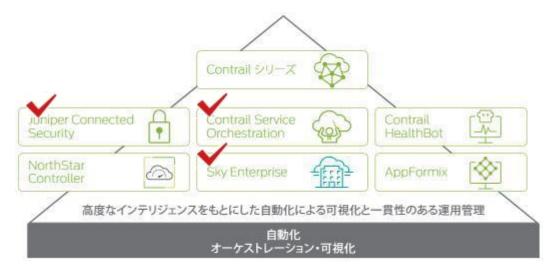


ジュニパーの製品・ソリューションポートフォリオ









内容

ジュニパーネットワークスの エンタープライズ向けソリューション & ユースケース



企業ネットワークのトレンド



IT担当者が抱える課題と対策、ユースケース



エンタープライズ向け連携ソリューション



まとめ - ジュニパーの差別化ポイント



企業ネットワークのトレンド



企業ネットワークのトレンド



クラウドを活用したアプリやコンテンツ



Wi-Fi, BYOD および IoTデバイスの増加



自動化による 業務効率アップ



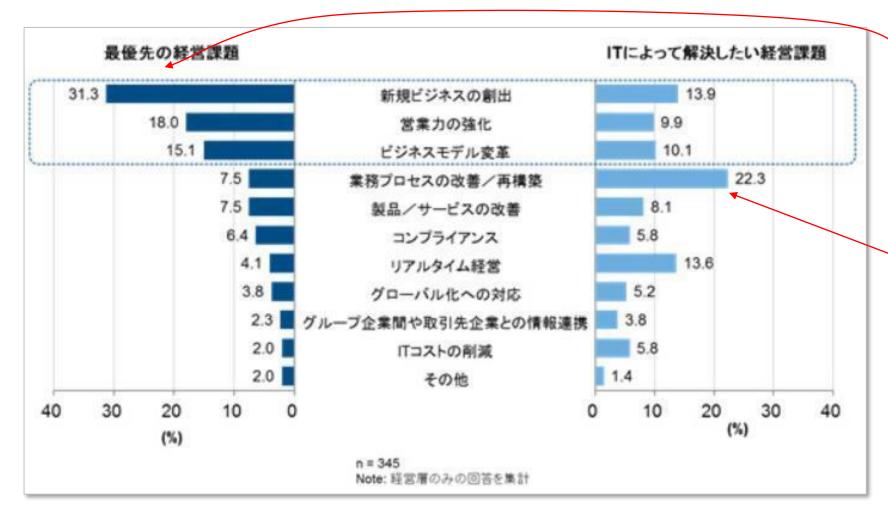
サプライチェーン攻撃等セキュリティリスク



企業が抱える課題と対策、 およびユースケース



企業経営層が抱える課題



優先順位の高い経営課題

- 新規ビジネスの創出
- 営業力の強化
- ビジネスモデル改革

ITによって解決したい経営課題

- 業務プロセスの改善・再構築
- 新規ビジネスの創出
- リアルタイム経営





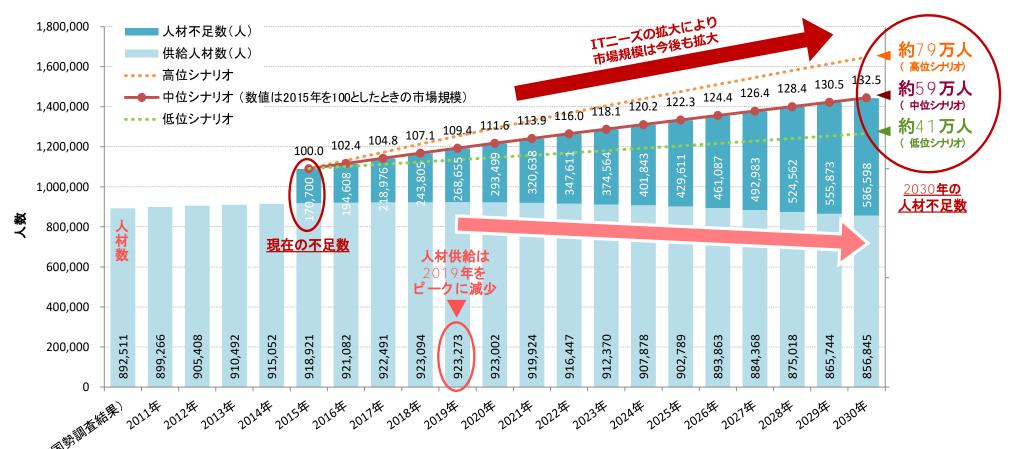






(Source: IDC Japan, 5/2017)

日本では今後、IT技術者不足がさらに深刻化



今回の推計では、将来の市場拡大見通しによって低位・中位・高位の3種のシナけを設定。低位シナけでは市場の伸び率を1%程度、高位シナけでは市場の伸び率を2~4%程度(アンケー・結果に基づ、将来見込み)、中位シナけはその中間(1.5~2.5%程度)と仮定した。さらに、低位・中位・高位の各シナけにつき、今後の労働生産性に変化がない場合と、労働生産性が毎年1%及び3%向上する場合の3種類の推計結果を算出した。

(出展) 経済産業省 IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果 平成28年6月

ジュニパーのエンタープライズ向けソリューションポートフォリオによる対策

ユーザ体感の改善による 業務効率の向上



セキュリティとネットワークの 自動化による人材不足の解消



新しいビジネスモデルの創出



「働き方改革」の実現に向けた 業務効率の改善、人材不足への対応、新たな収益モデルの提案

ユーザ体感の向上による 業務効率の改善



Wi-Fiの "つながらない" 問題を解決

アプリケーション識別し、トラフィックを制御

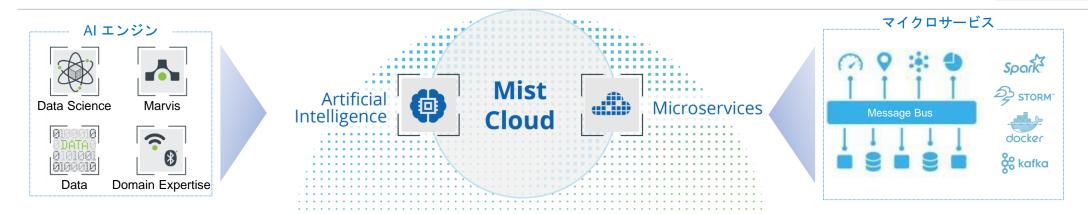
企業のWI-FI環境で頻繁に発生する問題



どれも問題の特定までに時間を要する

ユーザ体感の向上による 業務効率の改善

クラウドとAIによりW-Fi環境およびクライアントの状況を把握







クラウドとAIによるWi-Fiの最適化

- ✓ オペレーションの可視化
- ✓ ユーザ体感の数値化
- ✓ 簡単なトラブルシュート



MIST: 競合他社には無い4つの差別化ポイント

SLEフレームワーク

✓ マシンラーニングによりWiFi環境の現状を解析し、 7個の指標を視覚的に表示することで、 障害の迅速な障害切り分けと復旧が可能

ダイナミックパケットキャプチャ

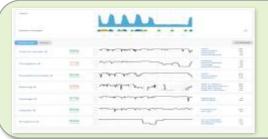
✓ 閾値を下回わると、自動でネットワーク上の パケットを収集し、断続的な障害であっても解析可能

クラウド型マイクロサービスアーキテクチャ

✓ ユーザはAP単位でファームウェアのアップグレードを 選択可能

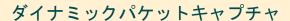
仮想ビーコンにより、物理ビーコンの課題を解決

- ✓ バッテリー不要でメンテナンスが一切不要
- ✓ クリックだけで、追加/削除/変更が可能



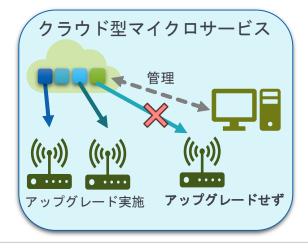
SLEフレームワーク

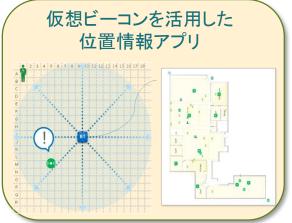
- ✓ SLEを満たしているか?
- ✓ 問題の原因は何か?
- ✓ いつ発生していたのか?



ネットワークが つながり難い クライアントの 詳細情報を確認 AIが異常の聴講を 検知して自動で キャプチャ開始

障害事象が発生しているときにデータ収集可能

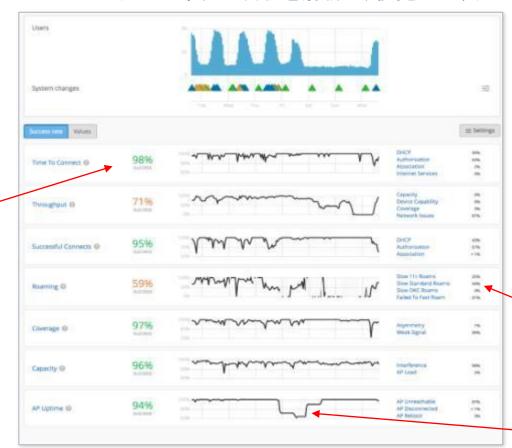




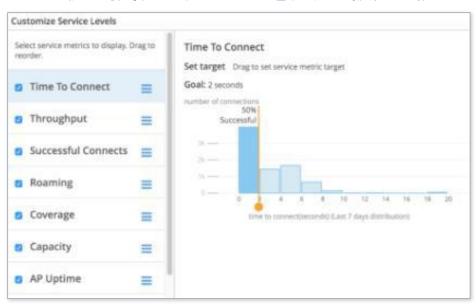
クラウドとAI によりWi-Fi 環境全体と、 各クライアントの状況を把握

• SLE (Service Level Expectation) 機能

マシンラーニングによりWiFi環境の現状を解析し、視覚的に表示



7個の指標に対してSLEを独自で設定可能



問題の原因は?

どの時点で問題は発生していたのか?

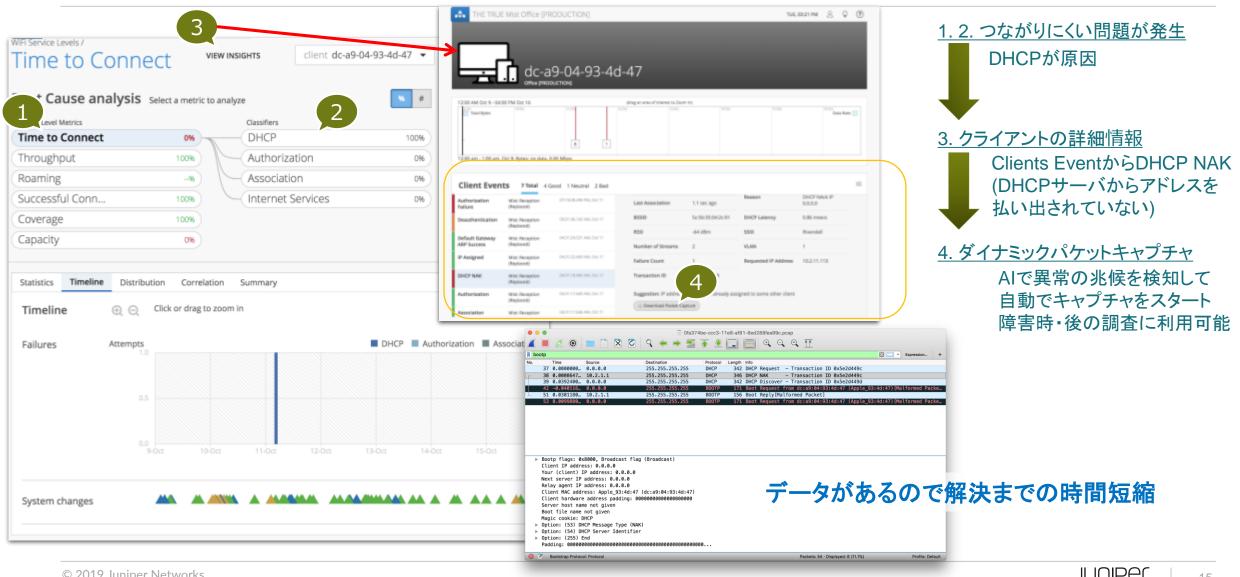


SLEを満たして

いるのか?

現地でのキャプチャやオンサイトの必要性を極力削減 ミストは発生した障害のパケットキャプチャが取れています!

ユーザ体感の向上による 業務効率の改善

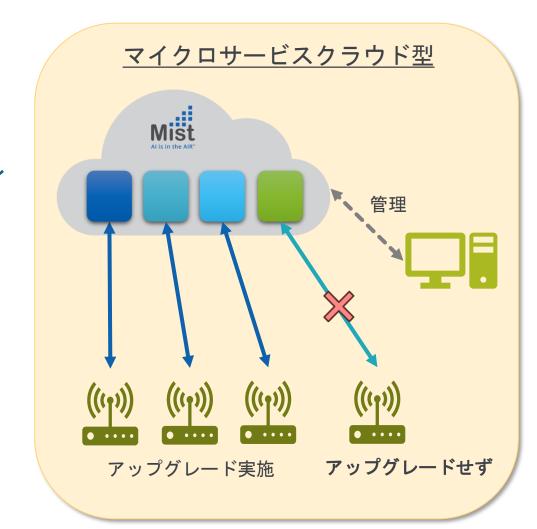


クラウド型マイクロサービスアーキテクチャ

■ 特徴:

- クラウド上では機能モジュール毎に マイクロサービス構成
- ユーザはAP単位でアップグレード選択が可能
- 機能追加やバグ修正の実装時にサービス断なし





ユースケース(1) ネットワークの可用性が劇的に向上

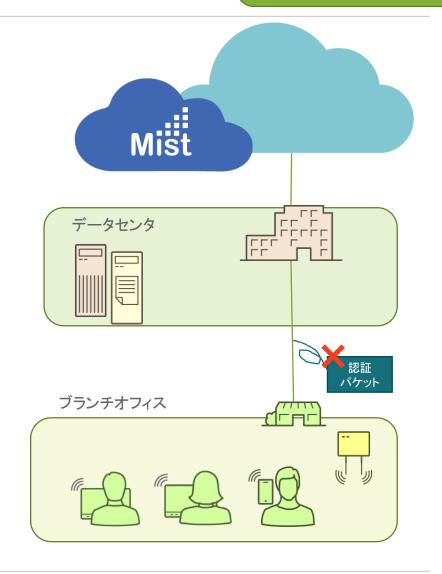
ユーザ体感の向上による 業務効率の改善

ユーザの 課題 既存ベンダのWi-Fi製品では、ネットワーク障害が発生すると、問題特定と復旧までに時間を要した。



解決策

- サービスレベル 7つの指標 ネットワーク環境を可視化・分析し、問題が発生している 端末やAPを特定する
- ダイナミックパケットキャプチャサービスレベルが期待値を下回ると、自動的にパケットを キャプチャし、問題解決を早める



ユーザ体感の向上による 業務効率の改善



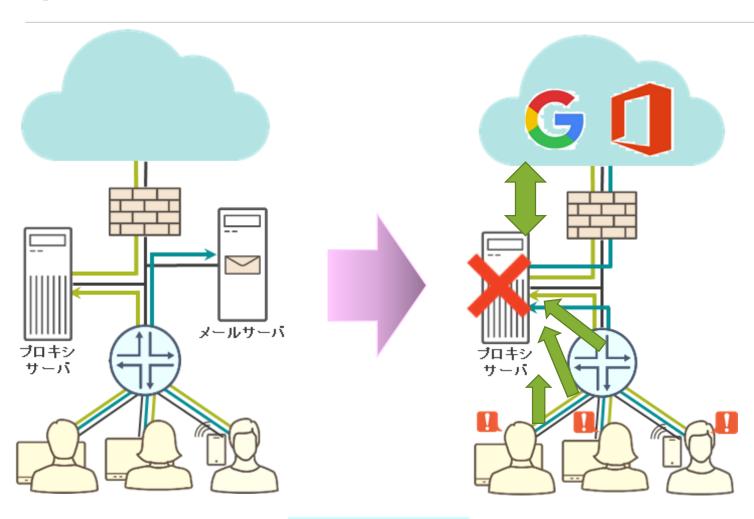
Wi-Fiの "つながらない" 問題を解決

アプリケーション識別し、トラフィックを制御

SaaS導入後、ネットワークが重くなった・・・この原因は何か?

① アプリケーションの応答性が低下する要因

ユーザ体感の向上による 業務効率の改善



メールやアプリケーションサーバを クラウドに移行すると、インターネット やWANトラフィックを管理する セッションサーバの負荷が増大。

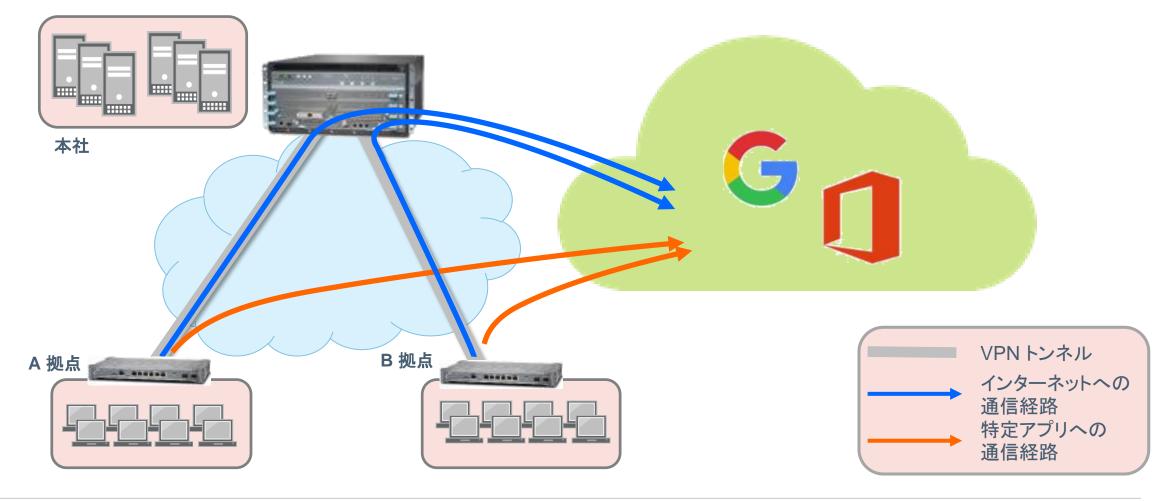


オンプレサーバの時と比べて、クラウドサービスの応答性が遅くなる。

① アプリケーションの応答性が低下する問題の対策 アプリケーションを識別した最適な経路にルーティング

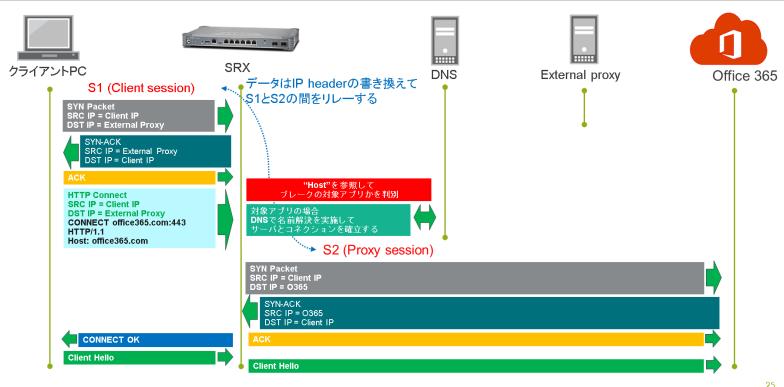
ユーザ体感の向上による 業務効率の改善

• Office365等のクラウドトラフィックをインターネットにオフロード



① アプリケーションの応答性が低下する問題の対策 Secure-Web-Proxy機能によるプロキシ環境でのオフロード

ユーザ体感の向上による 業務効率の改善

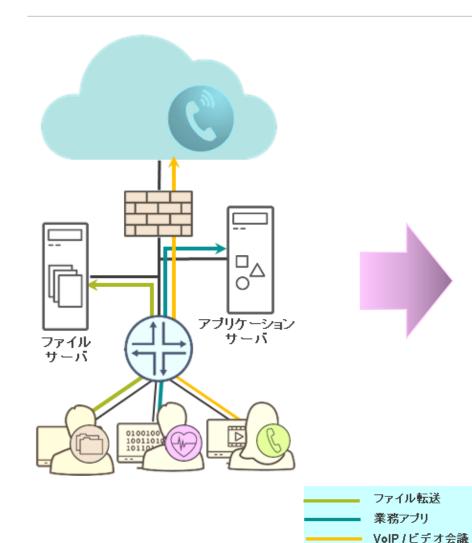


Secure-Web-Proxyの動作::

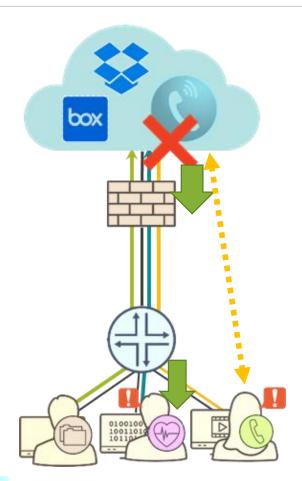
- ✓ SRXはクライアントとプロキシとのTCPコネクションをインターセプトする
- ✓ SRXは"HTTP connect request"の"Host" から宛先を確認し、DNSによる名前解決を行う
- ✓ SRXは該当サーバとのコネクションを確立し、サーバからのレスポンスをクライアントに送信する
- ✓ SRXはサーバとの接続に自身のIPアドレスを使用せず、クライアントのIPを使用する

SaaS導入後、ネットワークが重くなった・・・この原因は何か? ② ビデオ動画や音声通話が品質劣化する要因

ユーザ体感の向上による 業務効率の改善



© 2019 Juniper Networks



Juniper Business Use Only

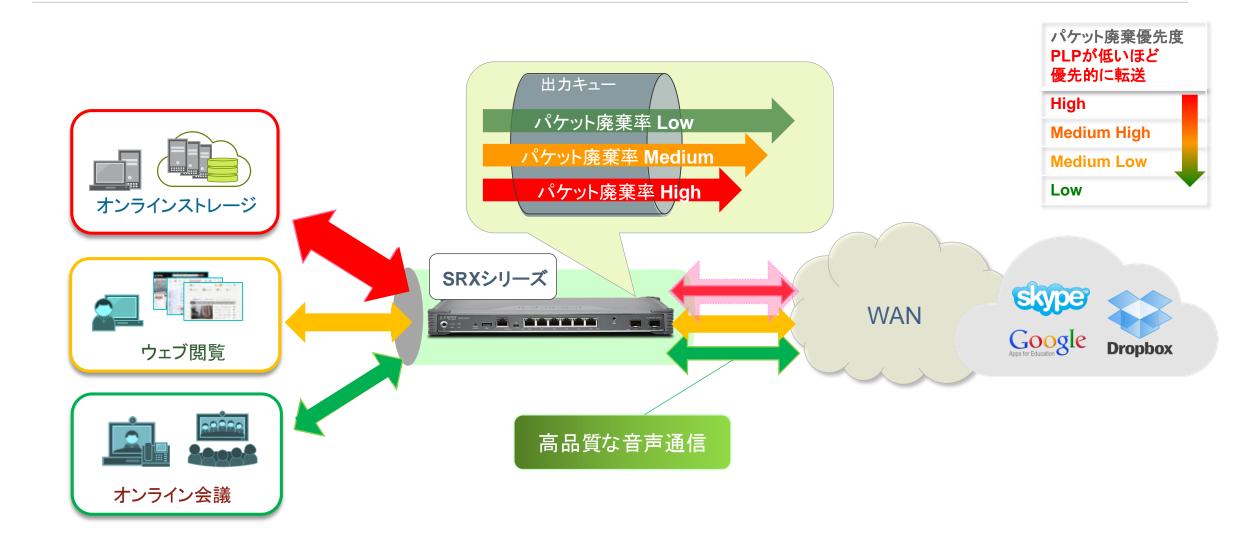
クラウドにデータを移行すると、 WANに流れ込むトラフィック量が増大し、 タイムクリティカルなアプリケーションが 影響を受ける。



VoIPやオンライン会議の音声品質が低下し、会話が聞き取り難くなる。

② ビデオ動画や音声通話が品質劣化する問題の対策 リアルタイム性の高いアプリを最優先させ、ユーザ体感を向上

ユーザ体感の向上による 業務効率の改善



②ビデオ動画や音声通話が品質劣化する問題の対策 ユーザベースのアプリケーション優先制御

ユーザ体感の向上による 業務効率の改善

ユーザ属性とアプリケーションを条件にポリシーを適用

CEO



- 全アプリ許可
- ■アンチウイルス有効
- Skype最優先

Sales



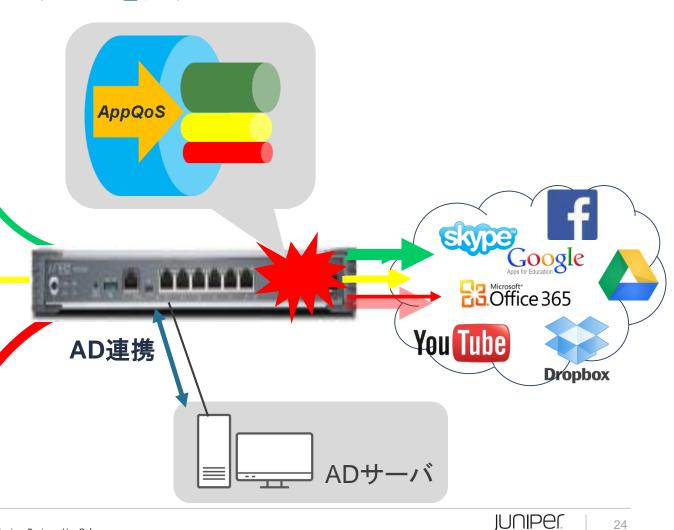
- P2P, YouTubeはブロック
- アンチウイルス有効

Finance



- P2Pはブロック
- YouTubeは許可
- アンチウイルス有効

Juniper Business Use Only



24

AppQoSデモ



ユースケース(2) クラウドアプリ導入後のユーザ体感の向上

ユーザ体感の向上による 業務効率の改善

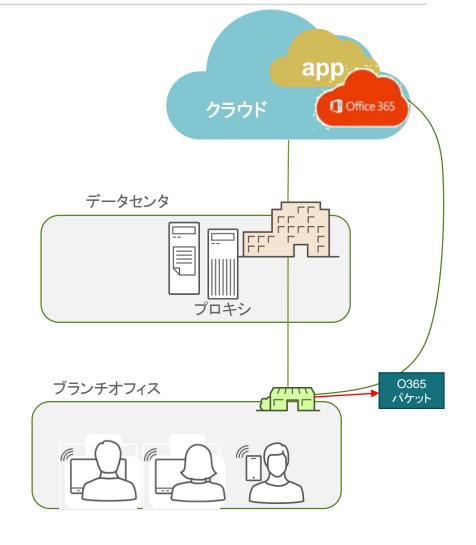
ユーザの 課題 オンプレからクラウドサービスに移行後、アプリが重く感じるとユーザからの苦情が多くなった。



・アプリケーションを識別したローカルブレイクアウト 主要なクラウドアプリは勿論、ユーザ独自のアプリまで カスタムシグネチャでトラフィック制御可能

解決策

・AppQoSによるタイムクリティカルなアプリの最優先 音声や動画通信を優先転送し、ファイル転送等のバースト性 トラフィックを優先廃棄することで、ユーザ体感を良くする





侵入したセキュリティ脅威を自動検知、隔離

エージェントレスのIoT, BYOD向け脅威対策

セキュリティを取り巻く現状

高度化する攻撃



多様化する 就業形態・ 増えるデバイス IoT-BYOD



攻撃後、 脅威が潜伏 発見が長期化 人材不足



高まる 本 る 二 ズ 数 育 の 限 界

新たな脅威

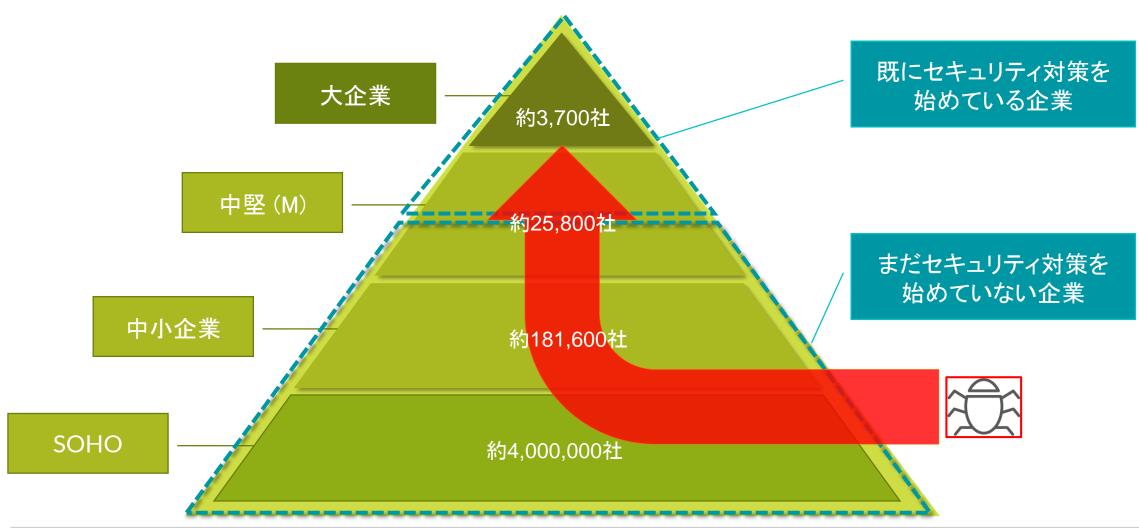


サプライチェーン

攻擊



サプライチェーン攻撃



ジュニパーのコネクテッドセキュリティーセキュリティをもっと簡単に!



監視









マルチベンダ環境における

- ・ セキュリティのイベント
- 脅威インテリジェンス



可視化

- すべてのセキュリティシステムで 連係して脅威を検知
- ・ ノイズの多いログから脅威を発見



検知

防御

- ・ 感染ホストの自動隔離
- ワンタッチのリスク軽減
- サードパーティ連携

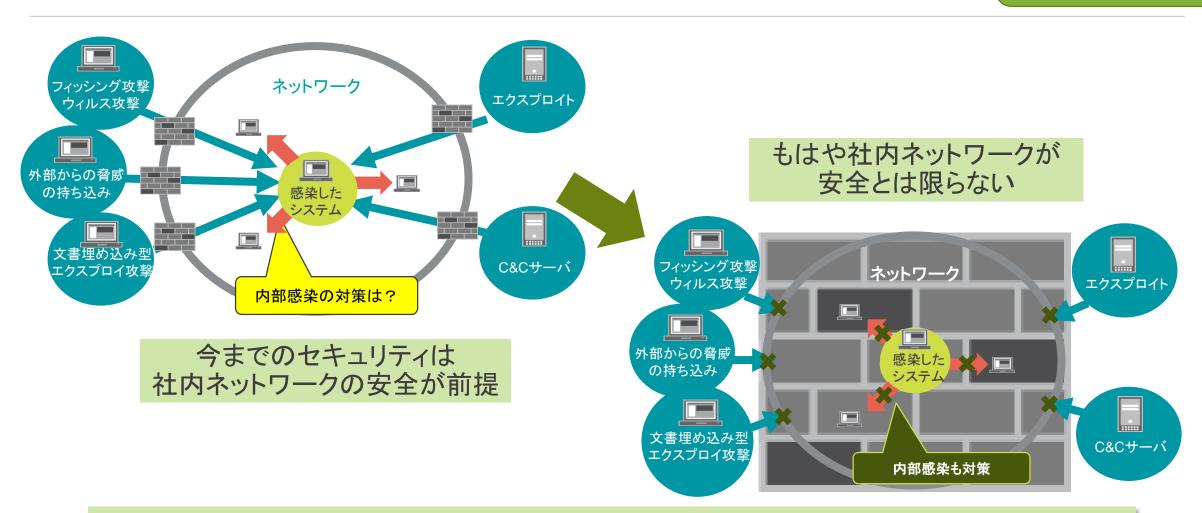


対処





境界セキュリティだけでは不充分



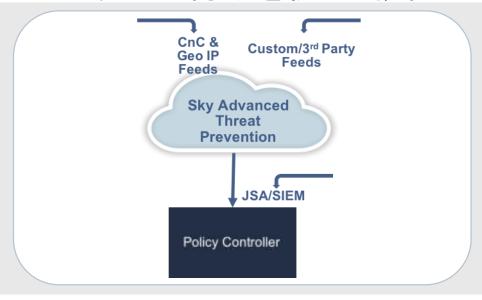
既に内部へ脅威が持ち込まれていることを前提に対処する必要がある

サイバー脅威を自動的に検知し排除する仕組みが必要

手動による脅威への対応



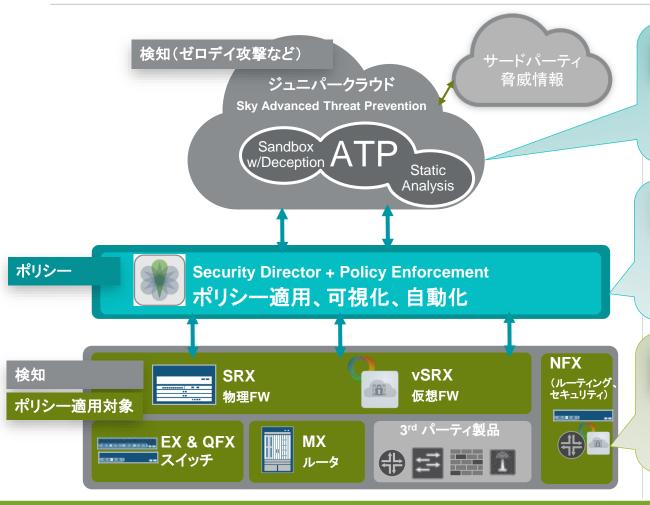
自動的に脅威を検知・排除



事象の 発見・通報 (ユーザ・運用者) 初動対処の可否、 情報伝達 (運用者) 被害拡大の 防止・抑制 (運用者) 原因推定の調査 (運用者・ セキュリティ責任者・ 専門組織) 再発防止策の立案 (運用者・ セキュリティ責任者・ 専門組織)

脅威の検知から、対処・防止策までを自動化

Connected Security: ネットワークをセキュリティドメインとして、自動検知と対処



2. 検出

複数の情報源から脅威情報をアップデート ネットワークに侵入した脅威をリアルタイムに検知

1. ポリシー

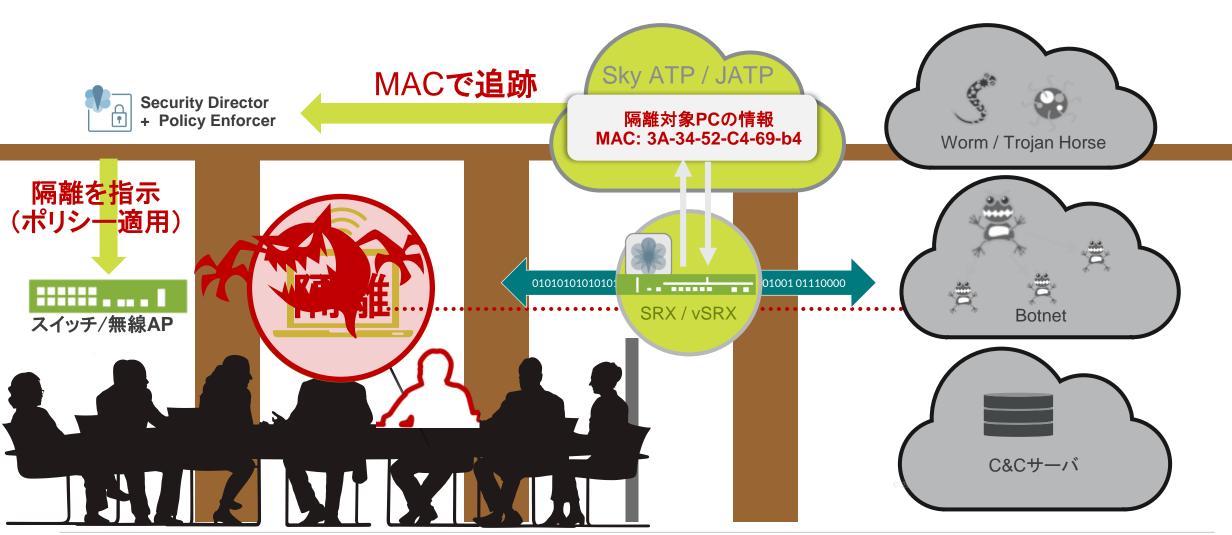
10段階の脅威レベル
ユーザ毎に情報セキュリティポリシーを設定

3. 対策実行

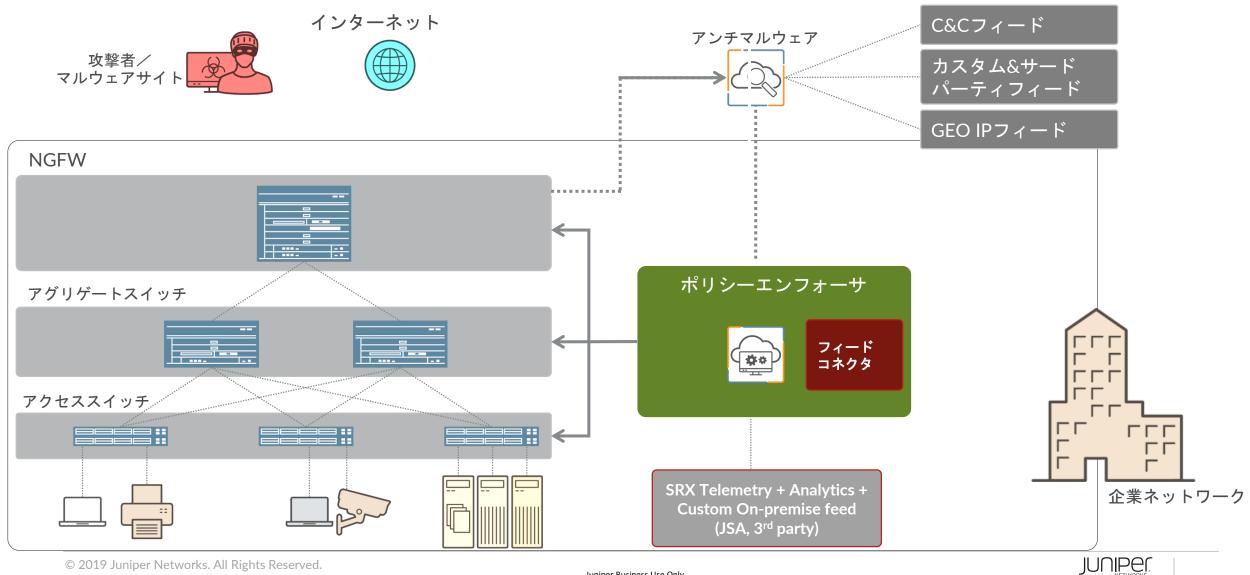
リアルタイムでネットワークに脅威フィード情報を展開 感染者(脅威)に近いポイントでポリシーを実行

ネットワーク全体を単一の対策実行ドメインに!それぞれの機器がポリシーの適用ポイント

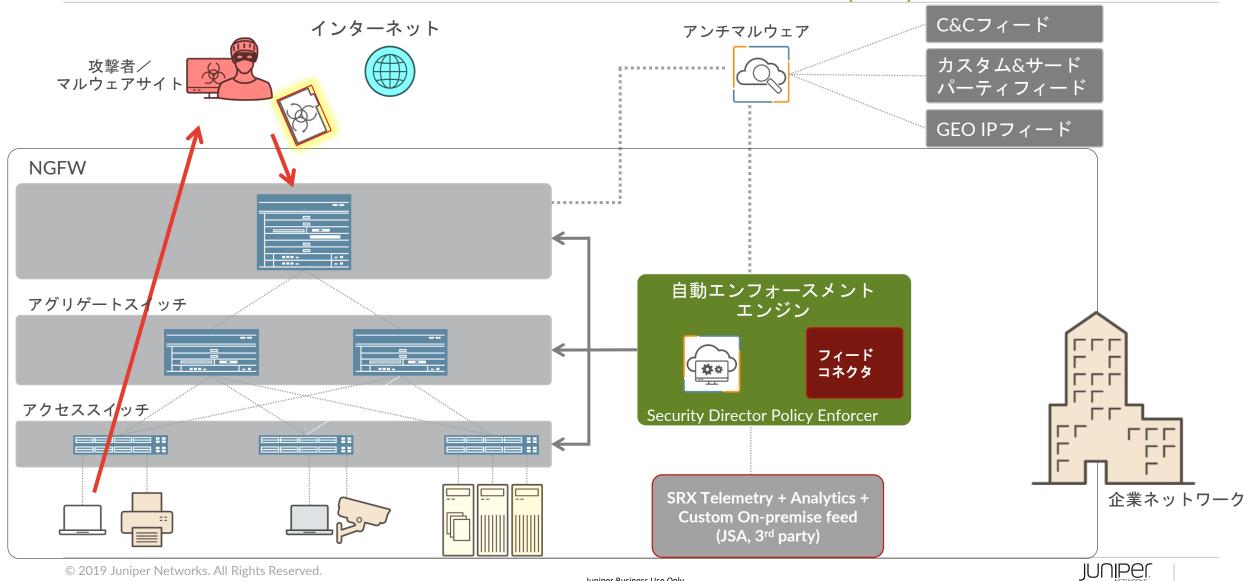
MACアドレスで追跡・隔離



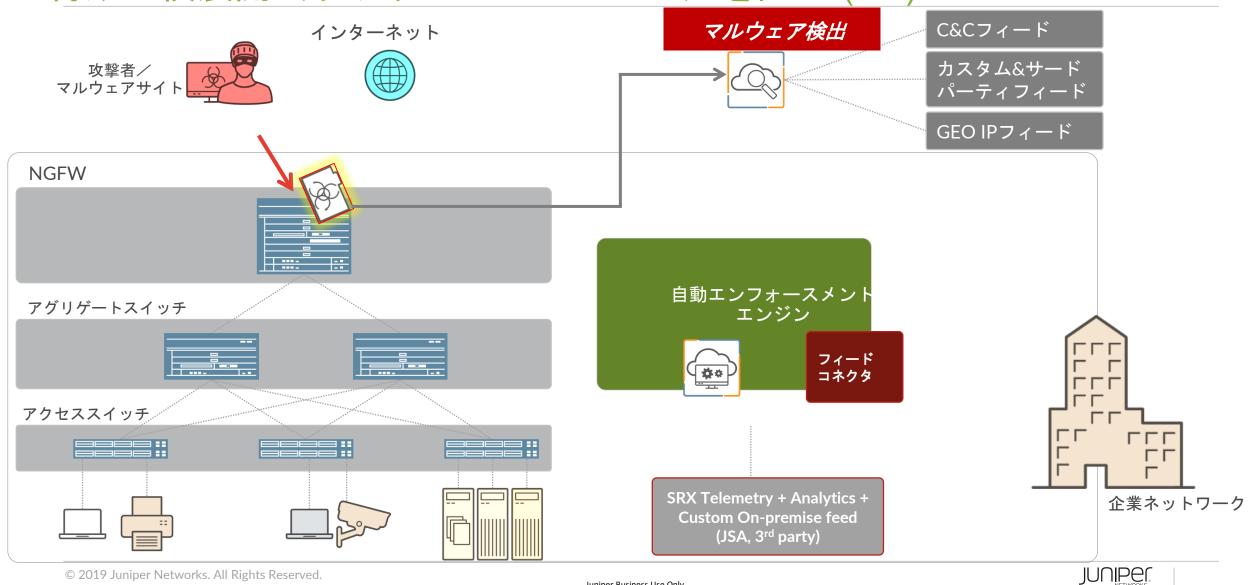
脅威の横展開(ラテラルムーブメント)を阻止 (1/5)



脅威の横展開(ラテラルムーブメント)を阻止 (2/5)

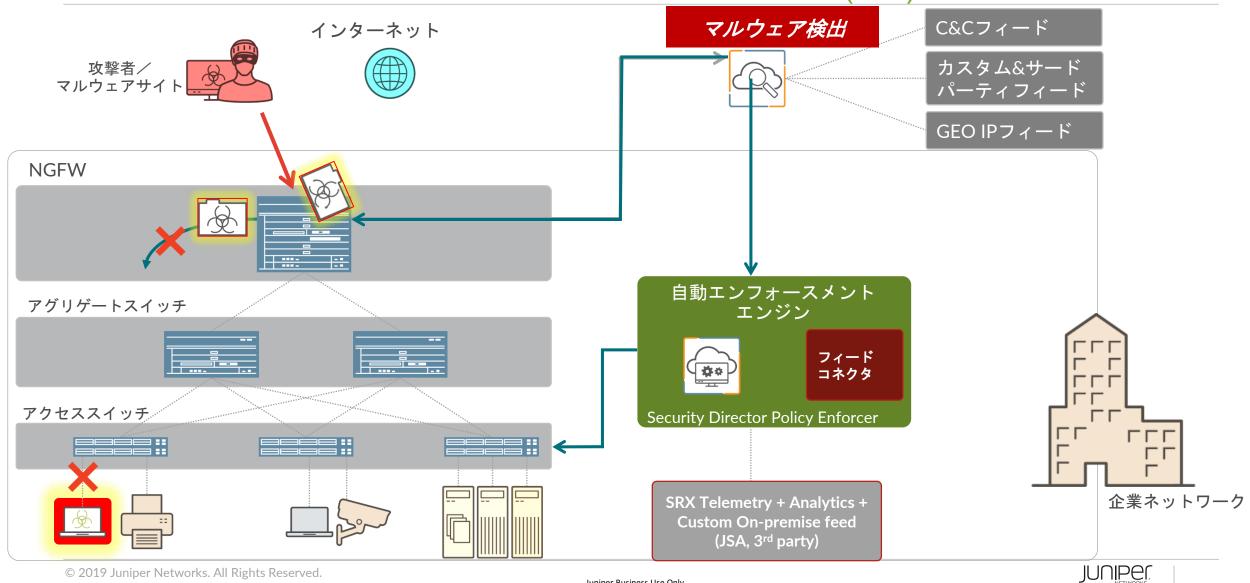


脅威の横展開(ラテラルムーブメント)を阻止 (3/5)

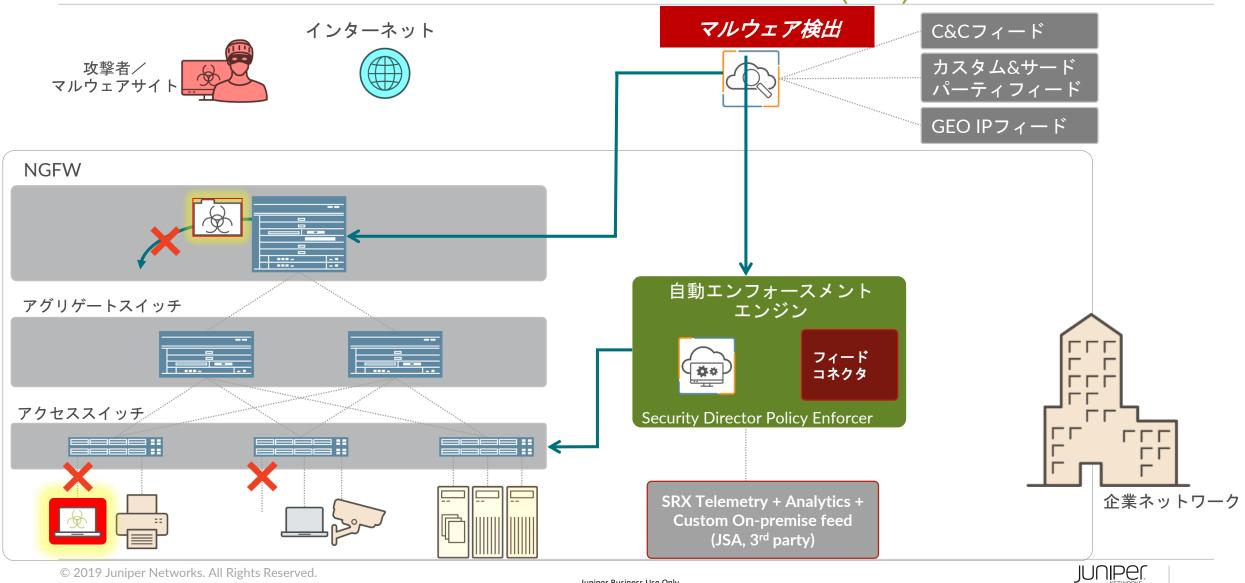


© 2019 Juniper Networks. All Rights Reserved.

脅威の横展開(ラテラルムーブメント)を阻止 (4/5)



脅威の横展開(ラテラルムーブメント)を阻止 (5/5)



自動化による IT人材不足の解消

セキュリティの自動化と人材不足の解消 ユースケース(1)急増するIoTやBYODのセキュリティ対策

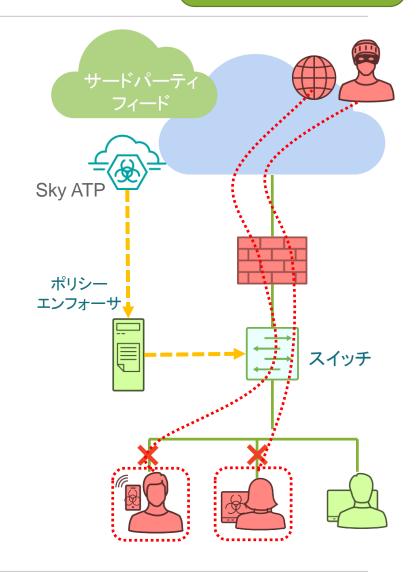
ユーザの 課題

- ・PCやサーバのセキュリティ管理が煩雑
- ・今後導入を控えているIoTやBYODデバイスの セキュリティ対策が課題



解決策

- ・ 脅威の検知、可視化および対処の自動化 迅速かつ的確に侵入した脅威に対処する
- エージェントレスでMACベースのエンドポイント管理 エンドポイントへの特別なエージェントソフトウェアは不要で、 MACアドレスにより感染端末を隔離する
- IoTやBYODのセキュリティリスクを軽減







仮想ビーコンを活用した位置情報サービス

オンデマンドなネットワークサービス

提案しやすい "All-in-One" パッケージ

仮想ビーコンを活用した位置情報サービス

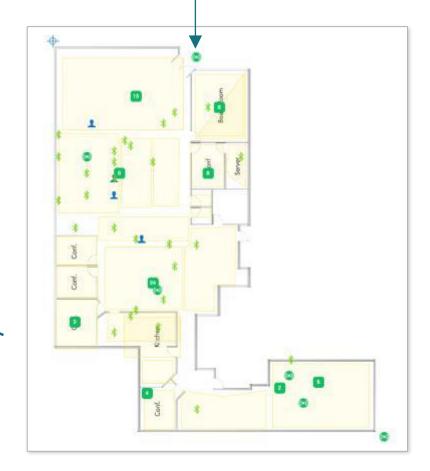
Mistの仮想ビーコンのメリット:

- バッテリー不要
- 紛失/盗難や勝手に移動されることがない
- ビルの景観を損なわない
- クリックだけで、追加/削除/変更が可能
- サイトサーベイ不要で展開後も継続的に キャリブレーション
- ビーコンのメンテナンスが一切不要

仮想ビーコンの適用領域:

- 顧客単価を上げるカスタマエンゲージメント
- アセット管理
- 紛失/盗難や勝手に移動されることがない

フロアマップ 上のどこにでも・いくつでも仮想ビーコンの設置が可能



メッセージや電波範囲は UIやAPIにて設定可能

ick Edit Virt	tual Beacon		×
Name			
Lobby			
Message		Url	
Welcomel	Please sign in		
UUID		Transmit Power	
00000000-0000-1000-8000- 0000000000000		Custom: 4 dBm (1.6m immediate, 3.2m near, 9.5m far)	
Major	Minor	X position (m) Y position (m)	
0	0	3.072 -10.512	

VBLEデモ WALT DISNEY WORLD SWAN & DOLPHIN RESORT



新しい収益モデル

収益モデル - カスタマエンゲージメント ユースケース(1)小売業向け販売促進の支援

ユーザの 課題 効果的にユーザの来店を促し、商品やサービスの購入につなげたい。



解決策

- ・ショッピングモールにおけるフロア案内や店舗誘導
- 季節毎、タイムセールスやクーポン情報の適時な配信
- ・オンデマンドな店員の呼び出しリクエスト
- ・おすすめ商品情報やリマインド等、客単価アップ

顧客





新しい収益モデル

収益モデル - カスタマエンゲージメント ユースケース(2)ホテル & 複合施設向けの付加価値

ユーザの 課題

- ゲストの利便性を向上させたい。
- ・イベント開催者向けに付加価値サービスを提供したい。



解決策

- ・施設内のナビゲーション(道案内)の提供
- ・自動チェックイン、クーポン配信、リゾート情報提供
- ・ゲストの行動分析等、イベント提供者へリーズナブルに 新たな 価値を提供

額客





収益モデル - アセット管理 ユースケース(3)大病院における医療スタッフの効率化

ユーザの 課題

- ・患者に貸し出した車イスや点滴スタンドの回収が大変。
- ・行方不明になる患者の捜索や、スタッフの居場所確認。



解決策

- ・BLEタグを使用して、院内資産を効率的に管理。
- ・患者の危険回避のため、IoTとBLE技術を活用したドアロックシステム。
- ・患者や医療スタッフの位置情報を管理。

顧客



Orlando VA Medical Center at Lake Nona





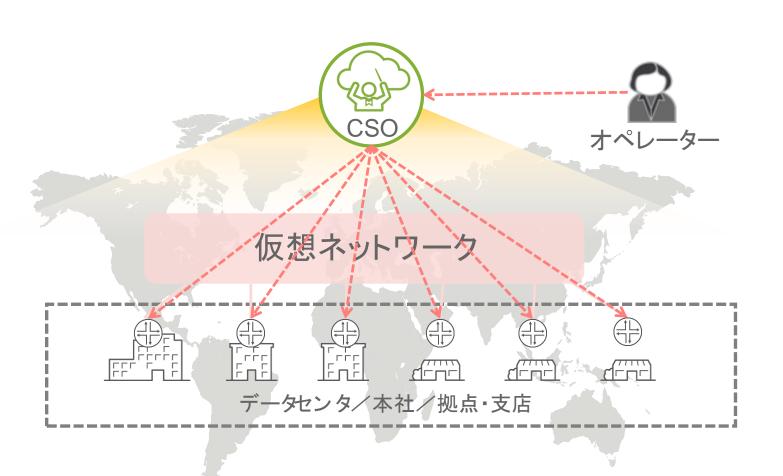
仮想ビーコンを活用した位置情報サービス

オンデマンドなネットワークサービス

提案しやすい "All-in-One" パッケージ

新しい収益モデル

SD-WANサービスオーケストレータ CSO による自動化・統合管理



従来の拠点毎の作業方式

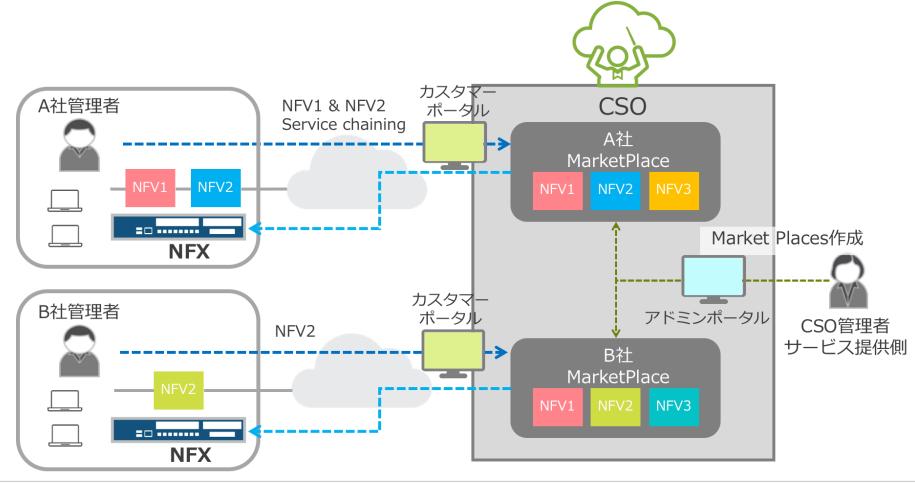
30分 x 拠点数(100) = 50時間

CSO 自動化·統合管理

10分 x 1(コントローラ) = **10分**

サービスチェイン: サービスの差別化・変化に対応できる柔軟なサービス基盤

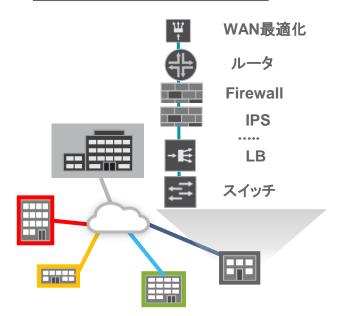
独自サービスの提供できる柔軟なサービス基盤



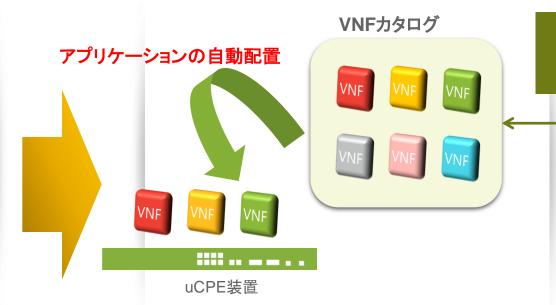
uCPE: SD-WANに付加価値をプラス

- ✓ オフィスや店舗で役立つネットワーク機能を迅速にお客様サイトへ提供するサービス
- ✓ 完全に自動化されたオーケストレーションプラットフォームによりに必要な機能を必要な時に利用
- ✓ 業界をリードする最新のアプリケーションをVNFサービスカタログで提供
- ✓ 複数の機器をお客様サイトに設置する必要無し

現状のブランチオフィス



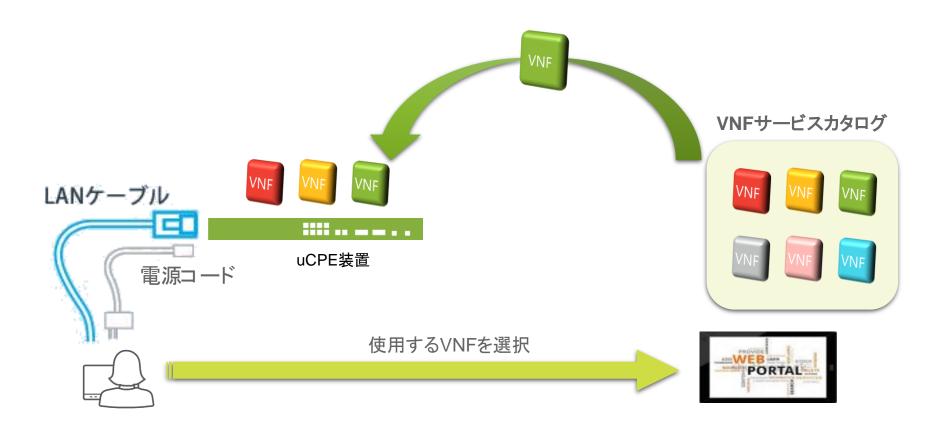
次世代ブランチオフィス(uCPE)



ユーザ独自のサービス を提供可能

uCPE: サービス展開のイメージ

- ✓ オンデマンドで必要な機能を利用可能
- ✓ お客様専用ポータルページより、必要なアプリを追加・削除



新しい収益モデル

収益モデル - サードパーティとのビジネスコラボ ユースケース(1) オンデマンドで付加価値サービスを提供

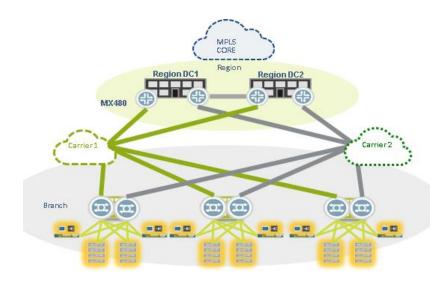
ユーザの 課題

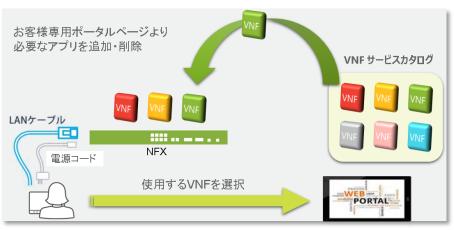
- ・ 固定資産(ハードウェア)を増やしたくない。
- ・ユーザに提供するサービスで差別化を図りたい。
- ・ネットワークサービスを導入するのに時間を要する。



解決策

- ・最低限のハードウェア(CPE)で、オンデマンドによる サービスの追加
- ・ユーザ体感を向上させるネットワークサービスを提供
- ・オンデマンドベースのサービス提供(オプション)









仮想ビーコンを活用した位置情報サービス

オンデマンドなネットワークサービス

提案しやすい "All-in-One" パッケージ

SRX - マルチサービスゲートウェイ

SRX "All-in-One" ソリューション

- ✓ WAN, LAN, Wifi, LTE からセキュリティまで
- ✓ SD-WANトラフィックステアリング
 - ▶ アプリケーションの可視化と制御
 - ➤ トラフィック制御(LBO, AppQoS)



2-10 Gbps

SRX4000

SRX340

SRX300/320

......

100 Mb/s



200 Mb/s



SRX345

300Mb/s

WiFiモジュール

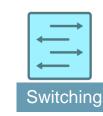


LTEモジュール







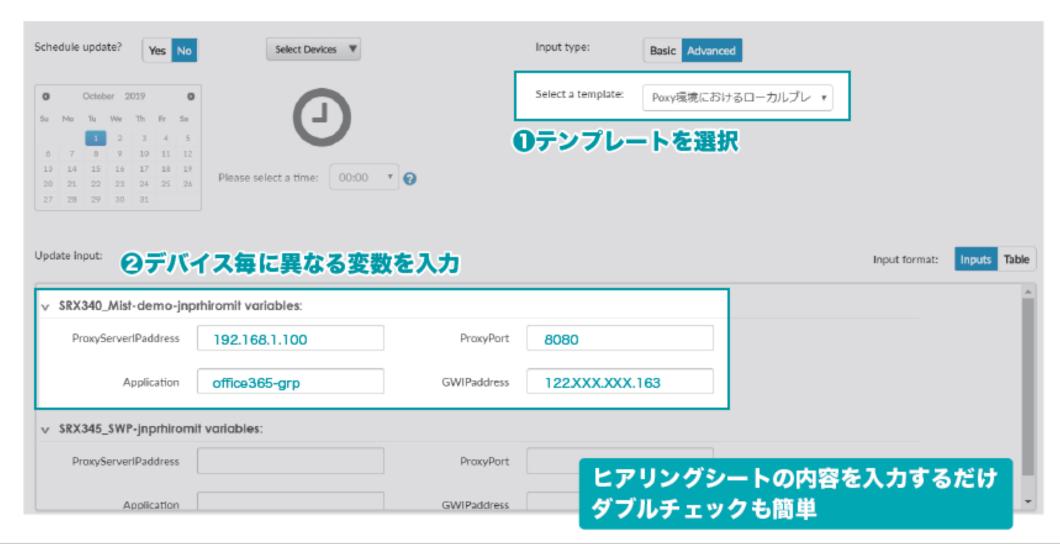




*Plannd for Q1-2020



Sky Enterprise: クラウドベース管理システム 設定したい項目だけをGUI画面にメニュー化し、設定フローを簡素化



収益モデル – ランレートビジネスを加速 ユースケース: SME向け "All-in-One" ソリューション

ユーザの 課題

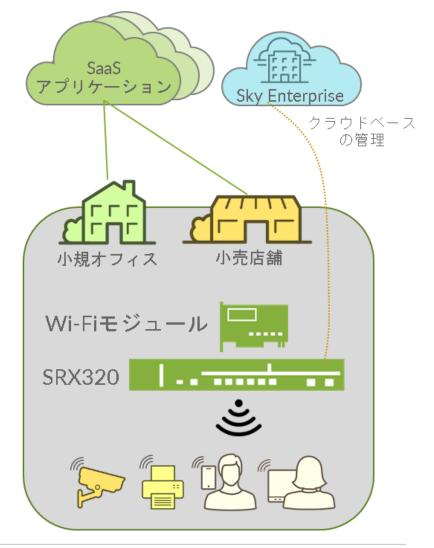
- ・機能毎に管理機器を増やしたくない。
- ・サービスの導入、および保守対応が煩雑。



解決策

- "All-in-One" ソリューション
 → 1台でWAN, LAN, WiFi およびファイアウォールを収容
- ・ZTPによる簡単なデプロイメント、保守交換作業
- ・クラウドベースの管理システムによる一元管理

MISTでは大きすぎる場合は、SRX w/ WiFiモジュール構成





エンタープライズ向け 連携ソリューションの提案



連携ソリューションの提案パターン

① ドアオープナーとしてのMIST提案

Wi-Fi の課題を Mistで解決



クラウドアプリの ユーザ体感を改善



WAN, LAN, WiFi を 一元管理



セキュリティ 脅威対策

② SSG, 旧SRX, Forti の付加価値リプレース

旧機種リプレースの 付加価値提案



WAN, LAN, WiFi の 一元管理



セキュリティ 脅威対策



IoTおよびBYODの セキュリティ対策

③ SD-WANの収益型モデル

SD-WAN案件



付加価値VNFによる 新しい収益モデル

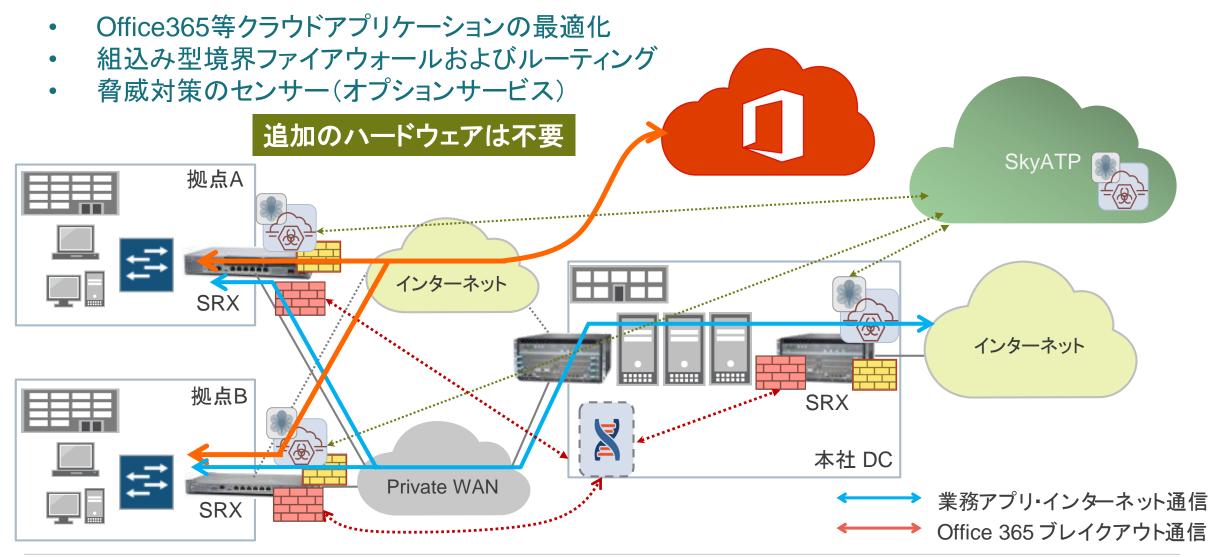


WAN, LAN, WiFi の 一元管理



IoTおよびBYODの セキュリティ対策

セキュアSD-WAN: 追加ハードウェア不要でセキュリティを強化



クラウドベースのマネージメントシステム: WANからLAN, Wi-Fiまで一元管理

可視化

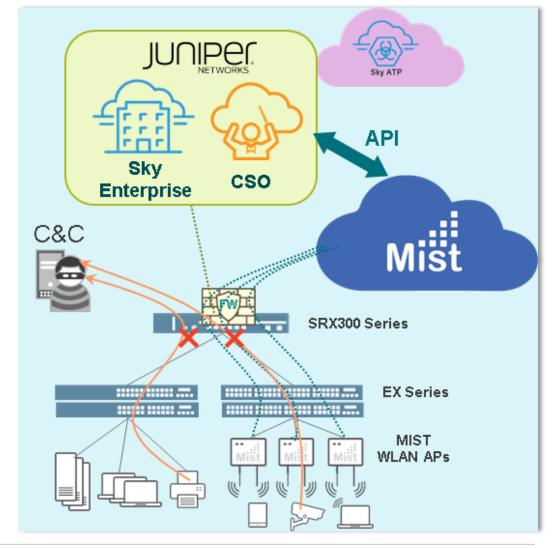
- Wi-Fi の稼働状況および通信品質の可視化
- アプリケーションの可視化とトラフィックの制御
 - ユーザ体感の最適化

一元管理

- NWデバイスの追加、操作、設定変更
 - セキュリティ、スイッチ、およびWi-Fiの一元管理
- デバイスのモニタリングとレポーティング

セキュリティ

• 境界セキュリティと脅威対策





まとめ ジュニパーの差別化ポイント



WHY JUNIPER? ジュニパーの差別化ポイント

ユーザ体感の向上

- ➤ 企業が抱えるWi-Fiの "つながらない" 悩みを解決
- ▶ アプリケーション特性を意識したトラフィック制御で、業務効率を改善

人材不足の解消

- ▶ 専門スタッフが不足しているサイトにおいて、セキュリティ脅威を自動検知、隔離
- ▶ IoTやBYODデバイスのセキュリティ脅威をネットワークレベルで検知・排除

新しい収益モデル

- ➤ Wi-Fix仮想ビーコンにより、IT環境に付加価値サービスを提案
- ▶ 問題解決型のSD-WANに加えて、収益性の高いサービスを提供

必要に応じてサービスを追加できるサブスクリプションモデル



競合情報



SD-WAN競合情報 機能比較

	JNPR SD-WAN	競合FWベンダ	競合SD-WANベンダ
コントローラ構成の 柔軟性	〇 用途に応じてコントローラを選択	△ コントローラを選べない	× コントローラへのアクセスが必須
管理対象 SD-WAN & SD-LAN	FW, RT, SW, WiFi, VNF	× FWのみ	A RT, VNF
プロキシ環境への導入	0	×	×
アプリケーション制御	〇 アプリケーションベースQoS	Δ	Δ
カスタムシグネチャ	0	×	×
MPLS, LTE, WiFi 接続	0	×	Δ
セキュリティ機能	0	0	△ サードパーティFWと連携
VNFサービスチェイン	0	×	Δ
トラブルシューティング	O CLIによる情報取得が可能	O CLIによる情報取得が可能	× GUIのみ

